

令和7年度 幼児期からの運動習慣形成プロジェクト

事業成果報告書

令和8年3月19日

富 山 県

令和7年度 幼児期からの運動習慣形成プロジェクト

事業成果報告書

目次

1. 事業の趣旨・目的
2. 事業の実施体制
3. 事業の内容
 - (1) 体制の整備
 - (2) 体験教室等の実施
 - (3) 事業の効果と検証
4. 事業の成果
 - (1) 評価指標および目標
 - (2) 結果と考察
5. 今後の課題
 - (1) 事業の成果
 - (2) 今後の課題

参考資料等

令和7年度「子供の運動習慣形成モデル事業」発表資料
幼児期からの運動習慣に関するアンケート

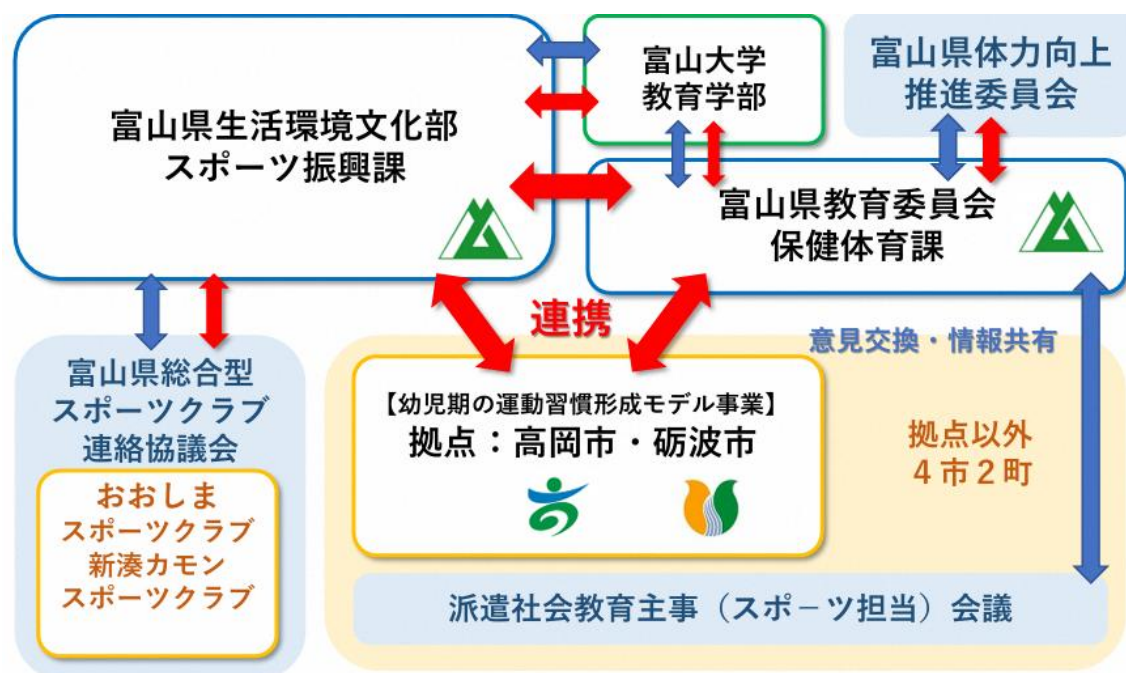
令和7年度 子供の運動習慣形成モデル事業 (スポーツ庁委託：幼児期からの運動習慣形成プロジェクト)

1. 事業の趣旨・目的

本県ではスポーツ主管課であるスポーツ振興課と、県教育委員会保健体育課、協力自治体及び関連団体が連携し、令和4～6年度に「幼児期からの運動遊び普及 事業」取り組んだ結果から得られた事項や課題から、比較的関心の低い層（無関心層）へのアプローチをテーマに「子供の運動習慣形成モデル事業」を計画することで、生涯を通じて運動に親しみ、健康に過ごすための基盤づくりにつながるよう、幼児期からの運動習慣形成を図るための取組を進める。また、本事業の取組を「富山県児童生徒体力向上推進委員会」や各市町村のスポーツ主管課担当者が出席する「派遣社会教育主事（スポーツ担当）会議」、「富山県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会」における情報提供や意見交換、「子育て・家庭教育・保育等担当部署」との情報共有により、県内全域に効果を波及させる。加えて、保護者や保育士等への「講習会」や幼児や保護者向けの「体験教室」等を開催して、場の提供をするだけでなく、保育所や福祉施設、児童館等へ巡回指導を実施し、直接出向く機会を増やすことで無関心層への意識・行動の変化につなげている。また、これまでの映像資料も有効活用しながら、「いつでも」「どこでも」学んだり振り返ったりすることができるよう、実践動画を作成し、より効果的な「運動遊び」の普及・啓発を進めたい。

2. 事業の実施体制

【組織相関図】



○事業主体一覧

【富山県生活環境文化部スポーツ振興課】

氏 名	役 職 等
山田 二郎	主幹・地域スポーツ係長
吉田 彩子	地域スポーツ係 主任

【富山県教育委員会保健体育課】

氏 名	役 職 等
宮脇 哲也	主幹・学校体育係長
安川 夏樹	学校体育係 指導主事

【高岡市教育委員会】

氏 名	役 職 等
高山 篤志	生涯学習・スポーツ課 課長
酒匂 博臣	生涯学習・スポーツ課 社会教育主事

【砺波市教育委員会】

氏 名	役 職 等
金平 裕	生涯学習・スポーツ課 課長
澤田 彩可	生涯学習・スポーツ課 主任

【富山県児童生徒体力向上推進委員会】

氏 名	役 職 等
堀田 朋基	富山大学 名誉教授
鳥海 清司	富山大学理事・副学長
澤 聡美	富山大学教育学部 准教授
増田 拓哉	富山県私立幼稚園・認定こども園協会
小川 恵	富山県国公立幼稚園・こども園長会
小島 伸也	富山県保育連絡協議会
新村 彰	富山県私立幼稚園・認定こども園PTA連合会
深山美南海	富山県国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会
今井 敦徳	富山県PTA連合会
柳瀬 明	富山県小学校教育研究会
鳥山 大輔	富山県小学校教育研究会
曾根 卷子	富山県中学校教育研究会
廣瀬 翔平	富山県中学校体育連盟
山本 和史	富山県高等学校体育連盟
城 樹伸	富山県高等学校体育保健学会
小林 雅恵	富山県教育委員会教育みらい室小中学校課 指導主事
鵜飼 雅信	東部教育事務所 指導主事
龍瀧 治宏	西部教育事務所 指導主事
兵庫 秀典	朝日町教育委員会 スポーツ係 主幹
澤田 彩可	砺波市教育委員会 生涯学習・スポーツ課 主任

【富山県教育委員会 派遣社会教育主事（スポーツ担当）係】

氏 名	役 職 等
五島 直樹	保健体育課長（派遣スポーツ主事担当）
岩原 渉	富山市市民生活部 スポーツ健康課 主査
酒匂 博臣	高岡市教育委員会 生涯学習・スポーツ課 社会教育主事
青木 邦彦	射水市教育委員会 生涯学習・スポーツ課 主任
谷内 亮太	魚津市教育委員会 生涯学習・スポーツ課 派遣スポーツ主事
濱田 雄弘	氷見市教育委員会 スポーツ振興課 主査
金森 淳史	滑川市教育委員会 スポーツ課 主任
鎌森 公士	黒部市教育委員会 スポーツ課 課長補佐
澤田 彩可	砺波市教育委員会 生涯学習・スポーツ課 主任
梨谷 一男	南砺市教育委員会 教育部 生涯学習スポーツ課 副主幹
五十里雅宏	舟橋村教育委員会 社会教育係 係長
前原五輪雄	上市町教育委員会 事務局 生涯スポーツ班 副主幹
若崎 勝	立山町教育委員会 教育課文化体育係 主任
板澤 泰子	入善町教育委員会 事務局 生涯学習・スポーツ係 主任
兵庫 秀典	朝日町教育委員会 事務局 スポーツ係 主幹

【富山県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会】※連絡協議会への出席

氏 名	役 職 等
上西 健人	富山県生活環境文化部スポーツ振興課 地域スポーツ係 主任
谷井 貴征	富山県スポーツ協会 普及振興課 課長
西野 香理	富山県スポーツ協会 普及振興課 主事

【アドバイザー】

氏 名	役 職 等
小川 耕平	富山福祉短期大学幼児教育学科 教授
澤 聡美	富山大学教育学部 准教授

3. 事業の内容

（１）体制の整備

令和４～６年度と同プロジェクトの結果から得られた事項や課題、今年度の事業の方向性について、アドバイザーの小川教授や澤准教授と共通理解を図った。

（２）体験教室等の実施

これまでの取組から、親子での活動や保護者等への働きかけが子供の運動習慣形成に向けた取組に効果的であったことから、「親子」で参加できるイベントや教室を増やし、幼児期の子供たちに関わる保護者等への働きかけを本年度も引き続き実施した。

ア. 協力自治体の取組（高岡市）

高岡市の運動遊び研修会では、市内保育園・認定こども園 保育士等、子育て支援センター職員、児童館・児童センター職員を対象に、小川耕平氏（富山福祉短期大学教授）を講師に迎え、「アクティブ・チャイルド・プログラム（以下：ACP）」を活用した運動遊びの講習を行った。

また、市内の幼稚園、保育園、認定こども園等を対象に希望する園に運動遊び指導者を派遣した。運動遊び指導者の派遣を希望する園は、希望するプログラムを選択して高岡市に申請し、運動遊び指導者は幼児期運動指針に準じて運動遊びを実施した。親子教室も含め延べ 91 園で運動遊び教室を実施し、市内の保育園等への普及・啓発につながった。

名称	講師	期日・会場	参加者・人数
運動遊び研修会 （高岡市）	富山福祉短期大学 教授 小川 耕平 氏	2025. 8. 28、11. 27 高岡市 ふれあい福祉セン ター	市内保育園・認定こども園 保育士等、子育て支援セン ター職員、児童館・児童セ ンター職員 延べ 63 名



イ. 巡回指導の取組（キャラバン隊）

拠点自治体以外では、富山福祉短期大学教授の小川耕平氏を講師に、保育参観において小川氏考案の「パピプッペぽぽん体操」や親子でできる運動遊びを実施し、子供たちの心と体の発達に必要な動きを楽しみながら習得した。

また、保育所等への巡回指導では、魚津市の 6 園で延べ 235 名が参加し、幼児期からの運動遊びについて普及・啓発を行うことができた。

名称	講師	期日・会場	参加者・人数
キャラバン隊 (巡回指導)	富山福祉短期大学 教授 小川 耕平 氏	2025. 10. 9 入善町 とうり保育所	4・5 歳児の親子 34 組 アンケート 34 名
	笑顔スポーツ学園 インストラクター 新屋 理乃 氏 寺下 朋美 氏	2026. 1. 30 立山町 むつみ幼稚園	5 歳児の親子 27 組 アンケート 27 名
		2025. 9 月～10 月 魚津市内保育園等	6 園 延べ 235 名



ウ. 富山大学の取組（キッズムーバーズアカデミー）

将来、教員を目指す富山大学教育学部の学生による運動遊び体験のキッズムーバーズアカデミーでは、大人も、学生も、子供もそれぞれが学ぶことができるように工夫して運営され、子供たちが家族と一緒に運動の楽しさを味わうことで、運動するきっかけづくり、体を動かす動機付けを高めた。

名称	概要	参加者数
キッズムーバーズ アカデミー	大学生が考案した運動遊びを体験する。 期日：2025. 6. 29、9. 16、9. 23、10. 16、 10. 26、11. 1、11. 14、12. 11、 2026. 1. 23 会場：富山大学五福キャンパス 富山県総合運動公園屋内ドーム 富山市立光陽小学校 クロスランドおやべ 五福児童館 対象：幼児・小学生とその保護者	延べ 500 名



エ. 総合型地域スポーツクラブの取組

総合型地域スポーツクラブと連携し、幼児期から継続的に運動に取り組むことができる事業を展開した。

名称	概要	参加者数
体育の寺子屋・親子教室 (新湊カモンスポーツクラブ)	「体楽しく」をメインテーマとした内容から”できた”の経験を通して、子供たちの可能性を引き出す。 期間：11月～12月 回数：5回 対象：3～5歳児の親子	延べ 60 組 アンケート 11 組



おおしまスポーツクラブの20周年感謝祭にあわせて「親子運動ひろば」を開催した。クラブ関係者だけではなく、スポーツ推進委員や高校生ボランティアが運営に携わることで、子育てに直接関係ない年代の方へも理解を深めるきっかけとなった。

名称	概要	参加者数
親子運動ひろば (おおしまスポーツクラブ)	投げる、蹴る、転がすを体験する。 期日：2025. 11. 16 会場：大島中央公園 対象：幼児・児童とその保護者	延べ 180 名 アンケート 25 名



オ. スポーツイベントの開催

①Enjoy！スポーツとやま 2025

県独自の主催イベント「Enjoy！スポーツとやま 2025」では、県プロスポーツチームや総合型地域スポーツクラブ、各競技協会の協力でスポーツ教室、体験教室を実施した。オープニングで「パピプッペぽぽん体操」を実施し、フィナーレではキッズムーバーズアカデミーによる「うちわでドン！おどっちゃフィナーレ」を行い、親子で気軽に参加できるスポーツイベントとなった。

名称	概要	参加者数
Enjoy！スポーツとやま 2025	「パピプッペぽぽん体操」を体験する。 運動遊び体験・教室。「うちわでドン！おどっちゃフィナーレ」を体験する。 期日：2025. 9. 23 会場：富山県総合運動公園 対象：年少～小学生とその保護者	参考：イベント全体参加者 約 6,000 名 アンケート 598 名 (※参考)



②協力自治体の取組（砺波市）

親子を対象に運動遊びイベントを開催した。トップアスリートから、自宅でも気軽に実施できるようなふれあい遊びや、ボールを使った様々な運動遊びを教授され、発達段階に合わせてそれぞれ楽しんだ。

名称	講師	概要	備考
あそびバ！ in 砺波	日本トップリーグ連携機構所属元トップアスリート2名 岡村 要氏 (ラグビー) 神山 みどり氏 (ソフトボール)	ふれあい遊びやボールを使った運動遊びを体験する。 期日：2025. 8. 3 会場：砺波体育センター 対象：年中から小学2年までの親子 60 組	広報：チラシ配布 (市内保育所、小学校対象学年) 市HPおよび市広報誌掲載 スタッフ：スポーツ推進委員、市職員、砺波高校生 アンケート：62 組(参考)



カ. 映像資料の活用

令和7年4月に改定した「富山県スポーツ推進プラン」では「運動やスポーツをすることが好き・やや好き」な児童生徒の割合を増やすことを指標の一つとしている。本事業では、富山大学教育学部と意見交換の中で、幼児期から年齢を重ねるごとに割合が増える「運動嫌い」な児童生徒にスポットをあて、富山県 Web アプリを利用したアンケート「みんなで選ぼう！第1回おすすめミッションランキング」を実施し児童の実態把握を行った。その結果から「運動嫌い」な児童は「一人でできる」「手軽にできる」「家でできる」運動遊びを好む傾向があることが分かった。



○Web アプリ「とやま元気っこチャレンジ」のミッションの充実

富山大学教育学部と連携し、「とやま元気っこチャレンジ」のミッションに、教育学部生が作成したオリジナル運動遊び動画を掲載した。年齢が近い学生の視点で、遊び内容や編集等を工夫することで児童の興味・関心を引き、視聴回数が増加した。また、「運動嫌い」な児童からのアンケート結果をもとに、「お手伝いミッション」を考案し、取り入れた。「運動嫌い」な児童に「おすすめミッション」に選ばれるなど、多くのミッション達成回数を記録した。

○オリジナル曲、オリジナルストレッチ動画の制作

アンケート結果を踏まえて、オリジナル曲と、簡単手軽にできるストレッチ「ちょいスト」動画を制作した。富山大学、楽曲制作者と意見交換を重ねた結果、次にあげた

- ・決められた動きだけでなく自由な動きが引き出せる曲
- ・耳に残る曲
- ・全体４５秒程度の短い曲
- ・ポップさや柔らかさ、落ち着きを感じられる音色、穏やかな雰囲気曲の曲

等の意見を取り入れ、オリジナル曲を制作した。

今後の楽曲活用のモデルとするため「ちょっと」した時間に「いす」で「ストレッチ」できる、「ちょいスト」動画を作成した。「運動嫌い」な児童含め、授業前や、業間などの学校の間時間（１分弱）で取り組んでもらうことを期待している。

オリジナル曲には、既定の動きが無く、曲を聴きながら自由に身体活動ができる。将来的には、幼児・児童が各園・校やクラスで、自由な動きを組み合わせたオリジナルダンス（ストレッチ）が作られ、すべての子供たちが楽しく身体を動かすことで、運動が好きな子供たちを増やしていきたい。



（３）事業の効果と検証

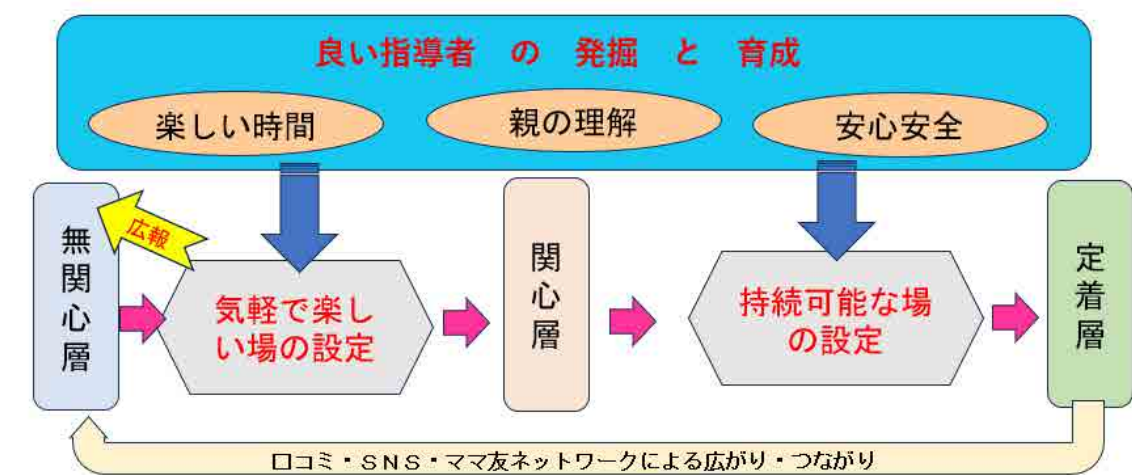
本事業の概要や方向性、成果・課題について拠点自治体（高岡市・砺波市）や富山大学担当者との連携会議を定期的に行った。

名称	期日・会場	概要
事業視察及び情報交換会	2025. 6. 29 富山大学	実施状況や成果、課題について （意見交換）
	2025. 8. 3 砺波市体育センター	実施状況や成果、課題について （意見交換）
	2025. 10. 9 とうり保育所	実施状況や成果、課題について （意見交換）
	2025. 11. 1 クロスランドおやべ	実施状況や成果、課題について （意見交換）

	2025. 11. 14 12. 11 2026. 1. 23 五福児童館	実施状況や成果、課題について (意見交換)
	2025. 11. 8 12. 6 アイシン軽金属スポーツ センター	実施状況や成果、課題について (意見交換)

ア. 意見交換会の実施

意見交換会では、取組状況や成果・課題、今後に向けての意見交換を通して、効果的な子供の運動習慣形成に向けた環境づくりについて意見を共有することができた。参加者からは、「良い指導者の発掘と育成が重要である」「無関心層には楽しい時間の設定が必要」との意見があり、「無関心層への口コミ・ママ友ネットワークによる広がり・つながりが出てくるとよい」とのご意見をいただき、有意義な時間となった。



イ. 報告会の実施

報告会では、県内全域に普及啓発を進めるため、現地とオンラインのハイブリット型で開催した。いろいろな立場の方々から意見をいただくことで、子供たちのみならず、子育て世代・働き盛り世代へのスポーツ全体の盛り上がりにつながった。

(ご意見) ・「楽しい体験」の継続が鍵

- ・指導者の質と関わり方が重要
- ・大学・地域クラブとの協働強化
- ・無関心層には、行事と連動した親子活動が有効

名称	期日・会場	概要
意見交換会	2026. 1. 28 富山県民会館	実施状況や成果、課題について (意見交換) 参加者：指導に当たった講師の先生、 自治体、県スポーツ協会、県教育委員会、 県スポーツ振興課
報告会	2026. 2. 18 富山県総合体育センター 会議室	実施状況や成果、課題について(報告) 参加者：指導に当たった講師の先生、総合 型地域スポーツクラブ、自治体、県ス ポーツ協会、県教育委員会、県スポーツ 振興課、オンライン参加者

4. 事業の成果

(1) 評価指標および目標

一般に、行動変容に至る経緯として「知識の獲得」→「意識の変化」→「行動の変化」→「習慣の変化」と推移するといわれていることから、講習会や親子での運動教室等を通して正しい知識を獲得し、意識を変化させ、行動の変容につなげていきたいと考えた。

(2) 結果と考察

①継続的な運動教室参加者への調査

【アンケート調査】

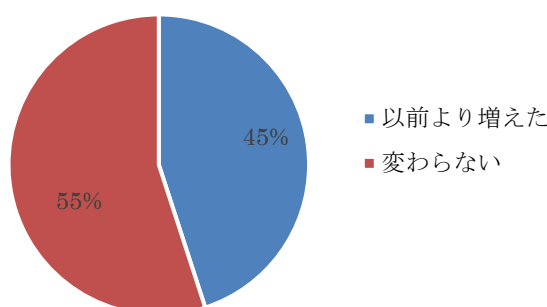
調査対象	概要	回答数
運動教室参加者	継続的な運動教室に参加した保護者に、 教室の初回と最終回に調査を実施する。 方法：紙面回答	(初 回) 9 組 (最終回) 11 組
イベント、教室等の参加者	イベント、研修会等の参加者に、参加後 に調査を実施する。 方法：Web 回答、紙面回答	125 名

継続的な運動教室参加者の最終回の調査結果を表にまとめた。

質問	内容	結果
ア	「子供が活発に身体を動かして遊ぶ機会が少ない」と答えた保護者のうち、「子供が以前より活発に身体を動かして遊ぶようになった」と回答する割合	45%：5/11 (目標値：60%)
イ	「子供が体を動かして1日60分以上遊ぶようになった(又は既に1日60分以上遊んでいる)」と回答する割合	100%：11/11 (目標値：75%)
ウ	「子供の不活動時間(スクリーンタイム等)が減少した」又は「子供の不活動時間を減らすことを意識するようになった」と回答する割合	64%：7/11 (目標値：50%)
エ	「子供の睡眠や食事などの生活習慣の改善を意識するようになった(又は既に意識している)」と回答する割合	82%：9/11 (目標値：75%)
オ	「子供と一緒に体を動かして遊んだり、運動したりするようになった」と回答する割合	73%：8/11 (目標値：60%)
カ	保護者自身の「不活動時間の減少を意識するようになった」と回答する割合	45%：5/11 (目標値：50%)
キ	「子供に運動遊びを習慣化させるための働きかけを意識するようになった(又は既に意識している)」と回答する割合	91%：10/11 (目標値：75%)

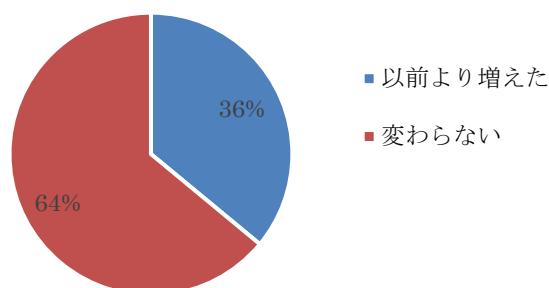
【子供の行動変容に関する項目（ア、イ）】

「子供が活発に身体を動かして遊ぶ機会が少ない」と答えた保護者のうち、「子供が以前より活発に身体を動かして遊ぶようになった」と回答する割合



・「以前より活発に身体を動かして遊ぶようになった」と答えた割合は45%、「変わらなかった」は55%であったが、「減った」と答えた方はいなかった。

「子供が体を動かして1日60分以上遊ぶようになった(又は既に1日60分以上遊んでいる)」と回答する割合

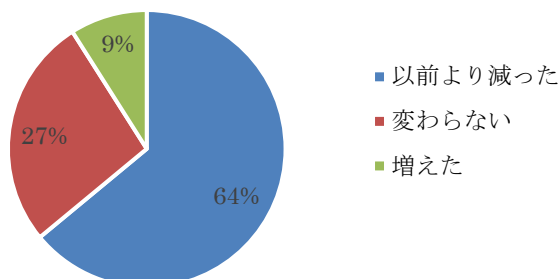


・「1日60分以上遊ぶようになった」の問いに対し、「以前より増えた」と答えた割合は36%、「既に1日60分以上遊んでいる(変わらない)」が64%であったため、1日60分以上遊ぶ割合を100%とした。

・目標値に届かなかった指標もあるが、継続的に運動機会を提供したことが運動頻度の増加につながったと思われる。

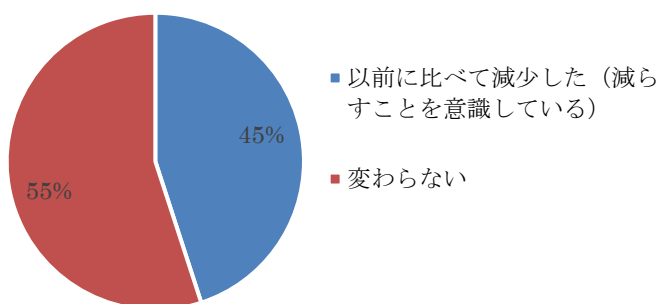
【保護者の意識変容に関する項目（ウ～キ）】

「子供の不活動時間（スクリーンタイム等）が減少した」又は「子供の不活動時間を減らすことを意識するようになった」と回答する割合



・「子供の不活動時間が減少した」「子供の不活動時間を減らすことを意識するようになった」回答が6割を超え、子供の運動頻度の増加につながった。

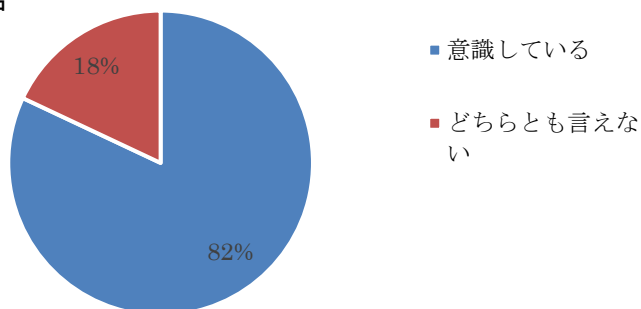
保護者自身の「不活動時間の減少を意識するようになった」と回答する割合



・一方、保護者自身が「不活動時間の減少を意識するようになった」の質問に対しては、半数以上が以前と変わらないと回答し、目標値の50%を下回る結果となった。

・身近に座位時間を増やす要因（テレビ・パソコン・スマートフォン）が多い現代の環境下で、子供の不活動時間が減少した、子供の不活動時間を減らすことを意識するようになった割合が半数を超えたことに関しては一定の効果があったと思われる。

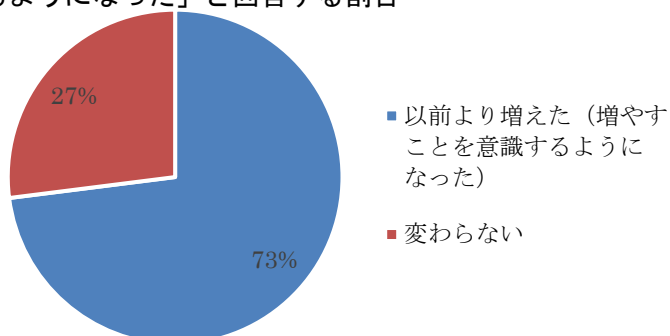
「子供の睡眠や食事などの生活習慣の改善を意識するようになった（又は既に意識している）」と回答する割合



・「子供の生活習慣の改善」については、「意識している」が82%、「どちらとも言えない」が18%となった。

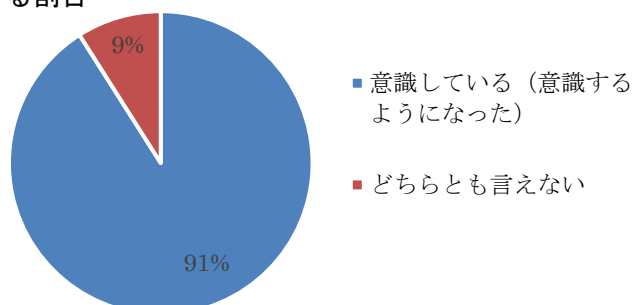
- ・「休養」「栄養」といった、「健康的な生活習慣の定着」を事業評価で最も重要な指標としていたが、目標値を上回った。
- ・「運動への取組」の部分について一定の効果が見られたが、生涯にわたって安全に「運動」に取り組むためには「健康的な生活習慣の定着」が最も重要であるといったことも周知していく必要がある。

「子供と一緒に体を動かして遊んだり、運動したりするようになった」と回答する割合



- ・「子供と一緒に体を動かして遊んだり、運動したりするようになった」については以前より増えた（増やすよう意識した）が73%であった。

「子供に運動遊びを習慣化させるための働きかけを意識するようになった（又は既に意識している）」と回答する割合



- ・「子供に運動遊びを習慣化させるための働きかけを意識するようになった（又は既に意識している）」については「意識するようになった」が91%となった。

- ・継続的に運動機会を提供したことで、高い値となりこのような結果につながった。

【保護者の意識変容についてのまとめ】

- ・「子供の運動時間や機会を増やしたい」「子供を運動ができる場所に連れていきたい」といった保護者の「意識変容」につながる項目や、「子供の生活習慣を充実させたい」といった改善について意識が高まっている。「子供と一緒に運動したい」が大きく下がっているのは、アンケートにおいて、該当するものを3つしか選択できないことが影響したと思われる。

今後の生活で取り組んでいきたい項目



<質問項目>

1. 子供の運動時間や機会を増やしたい
2. 子供の不活動時間を減らしたい
3. 子供の生活習慣を充実させたい
4. 子供に運動するよう勧めたい
5. 子供を運動ができる場所に連れていきたい
6. 子供と一緒に運動したい
7. 自分の運動時間を増やしたい
8. 自分の不活動時間を減らしたい
9. 自分の生活習慣をよくしたい
10. 自分の健康に関する知識や情報を増やしたい

<参加者の感想>

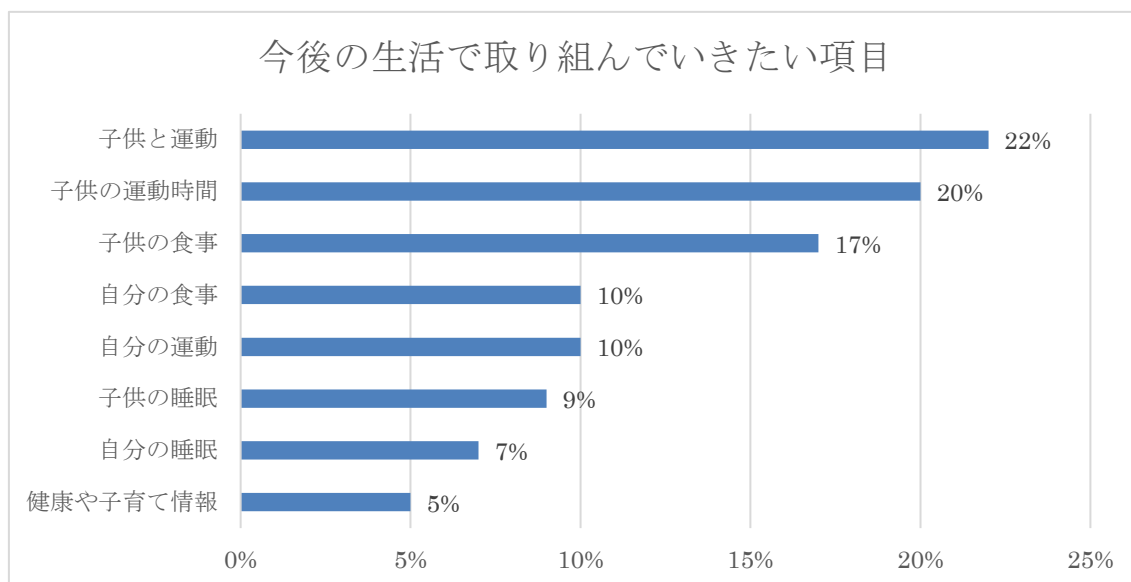
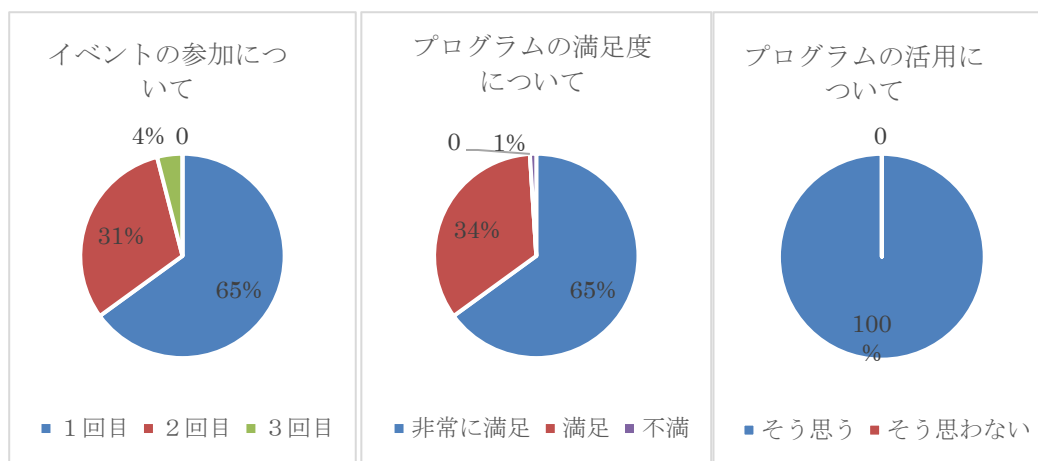
- ・ 自宅周辺に体を動かして遊べる場所がもっとたくさんあるといいです。今回は親子で楽しめました。
- ・ 親子、姉弟で一緒に楽しい時間を過ごすことができました。普段、なかなか運動する機会が少ないので、これをきっかけにすることができたらいいです。
- ・ 今後も続けて富山のアスリートを育ててください。
- ・ 親子でできる運動遊びを知ることができてよかったです。子供も親も楽しめました。
- ・ 自然の中での運動遊びがあればよい。
- ・ 単発で市などが主催するイベントが増えたら参加したい。
- ・ 子供ができないことに対してなんでだろうと思うこともあったが、難しいことを頑張っていると理解することができた。母親がけがをしているので、積極的に参加できなかったが、機会があればまた参加したいです。

②イベント参加者の調査（イベント参加者の傾向）

継続的な運動教室を除くイベントの参加者に、調査を実施し、参加者の傾向を把握した。

【拠点自治体のスポーツイベント（※参考）】

- ・本イベントの参加については、初めて参加された方の割合が高かったが、2回以上参加のリピーターも存在しており、イベントの周知がされていることや、関心の高さが伺えた。
- ・プログラムの満足度では、非常に満足と満足を合わせた割合が **99%**と非常に高い結果となった。
- ・今後生活で取り組んでいきたい項目では、「子供と運動（すること）」「子供の運動時間（を確保すること）」という回答が多かった。



<参加者の感想>

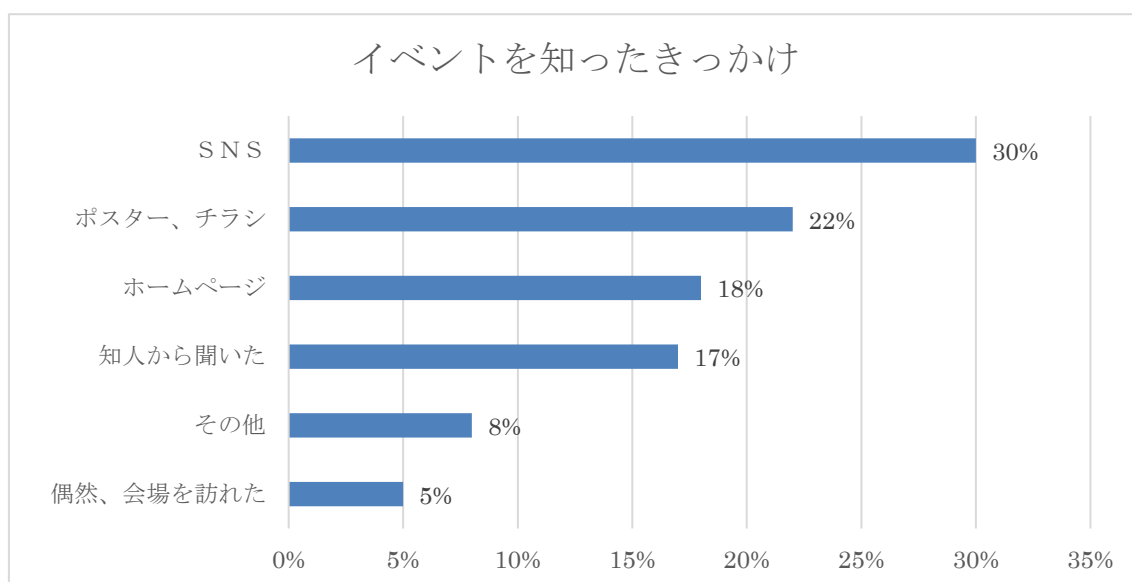
- ・遊び方や食べ物の噛み方等を気をつけ、生活にいかせるポイントが多く勉強になりました。
- ・小さな子供でも親子で楽しく遊べる内容だったのでとても楽しかったです。
- ・子供と全身を使った運動遊びをたくさんしてとてもよい機会になりました。ま

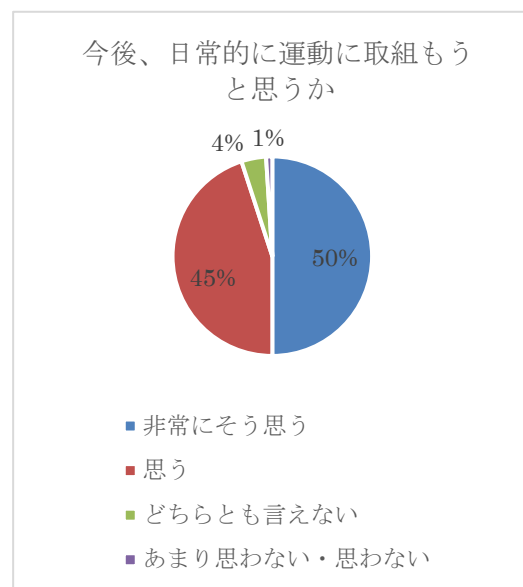
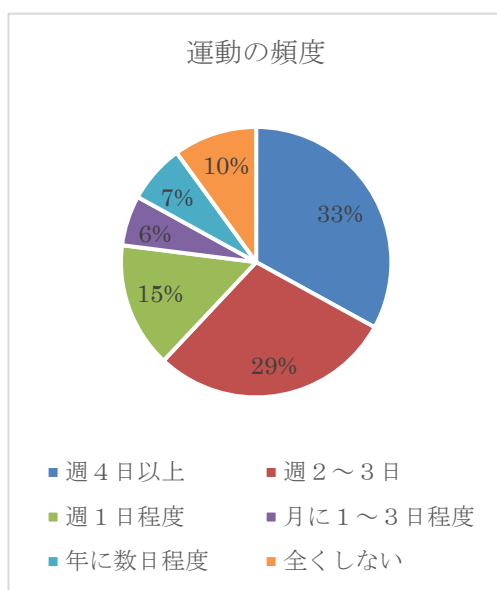
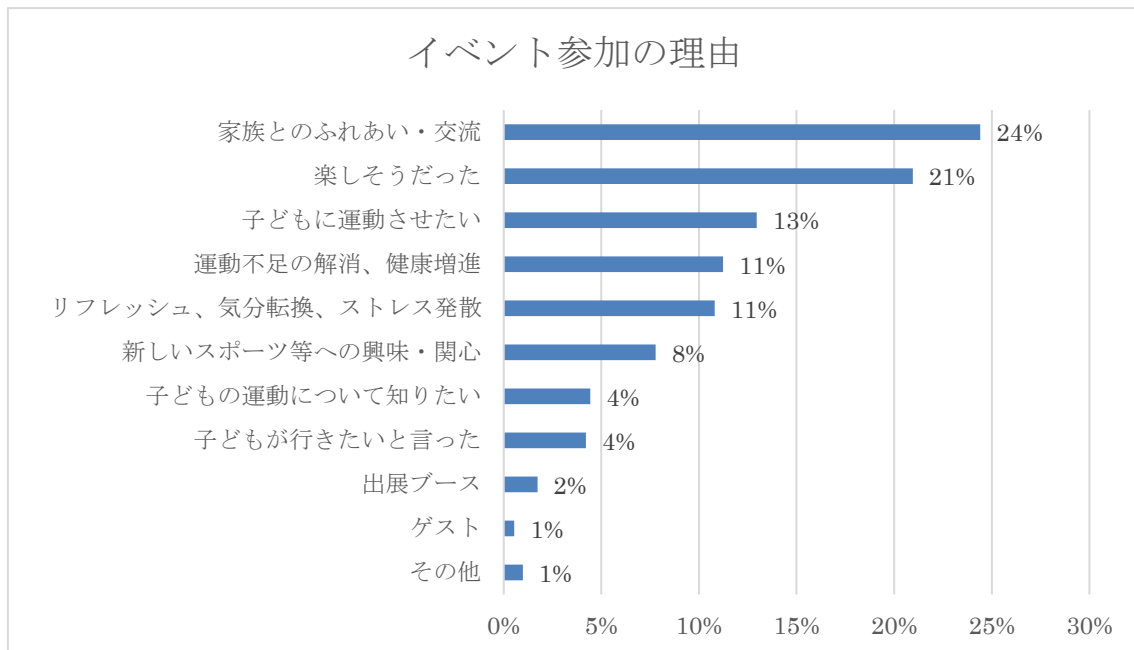
た、ボール運動でポイントを分かりやすく説明してくださり楽しみながら身体を動かせてよかったです。

- ・ラグビーボールは初めてだったが動きがおもしろくて楽しんでいた。チームを作ったのゲームや色々な大きさのボールを使っの遊びは、すぐにまねできることばかりで家でもやってみたいと思いました。
- ・子供と1対1で運動できる機会が普段あまりないので、とてもよい機会でした。今後も一緒に運動してみようと思いました。

【県主催のスポーツイベント（※参考）】

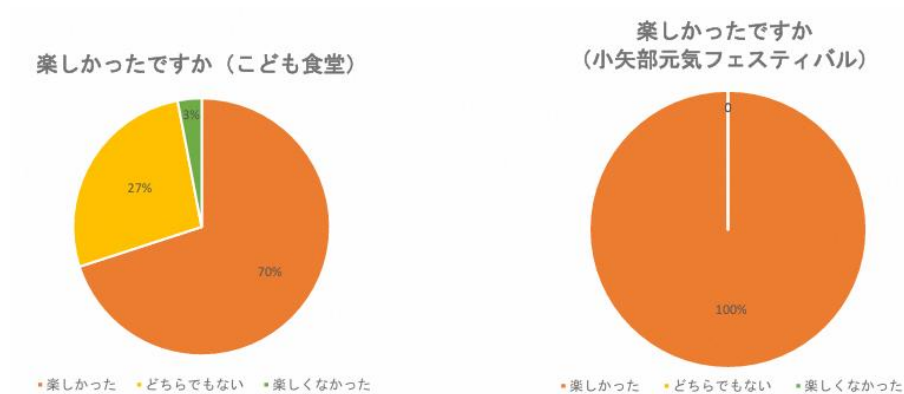
- ・オープニングでは体操の普及を兼ねて「パピプッペぽぽん体操」、フィナーレではキッズムーバーズアカデミーによる「うちわでドン！おどっちゃフィナーレ」を実施し、親子が一緒にリズムに合わせて身体を動かすことができた。
- ・イベント周知のきっかけは電子媒体（HP・SNS・メール等）が有効であり、そこから口コミで情報がさらに拡散していた。今後の広報活動に生かせる示唆が得られた。
- ・参加者の約77%が「週1日以上運動習慣」を有し、イベントを①家族とのふれあい、②自身の気分転換、③健康増進の手段として活用していた。今後の運動への取組意欲も高い傾向がみられた。





【大学のスポーツイベント】

- ・大学生が運動遊びを考え、イベントの運営等も行いながら子供たちと一緒に体を動かすため、子供たちの満足度も高く、将来の指導者育成にも生かされている。



- ・「楽しかったですか」の質問に対して、こども食堂では70%、小矢部元気フェスティバルでは100%が「楽しかった」と回答している。
- ・こども食堂の目的は食事であり、運動に興味がわかなかった子供もいたのではないかな。あるいは、人との関わりが苦手だとか、運動があまり好きではない子供も一定数いたのではないかと思われる。

【感想】

（小学生）

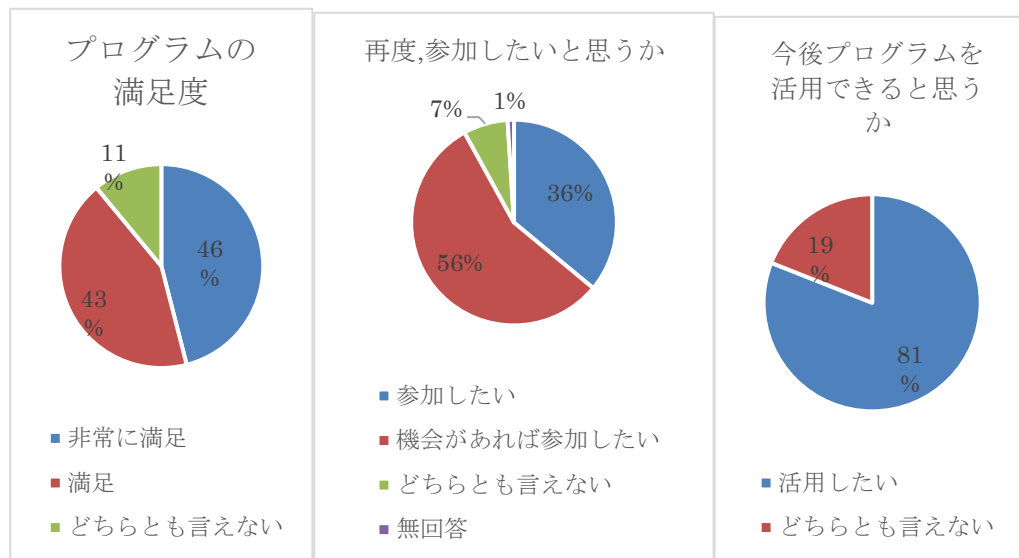
- ・クルクルコプターの、なげるのが楽しかったです。
- ・ちぎって作るのが楽しかった。
- ・楽しかったのでまた来てほしいです。
- ・楽しく遊べたし、おもいきり体を動かせたから。
- ・いろいろなゲームができて楽しかった。
- ・みんなでたくさん遊べて楽しかったです。
- ・大学生と遊べて楽しかったです。

（幼児保護者）

- ・5秒ルールがあったのがよかった。家でも遊べそうだった。
- ・楽しい時間をありがとうございました。
- ・素敵なイベントをありがとうございました。また、機会があれば参加させていただきたいと思います。
- ・その日でも参加できてよかった。

【保育所等巡回指導（親子教室）】

- ・保育参観において親子で運動遊びに取り組み、親子でのふれあいや体を動かすことの楽しさを実感することで、今後、家庭での運動時間の増加につながるきっかけとなった。



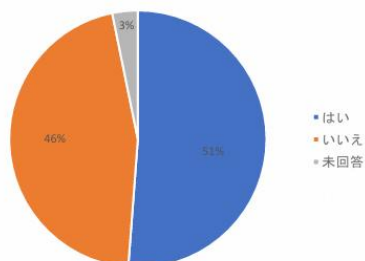
<保護者の感想>

- ・楽しい時間をありがとうございました。
- ・涼しくなったので公園に行こうと思ったけど熊が怖いのでやめた。
- ・子供と一緒に楽しめました。家でもやってみようと思える運動でとても良かったです。
- ・子供が今日の体操を楽しみに事前に YouTube で予習していました。当日もとても楽しめたようです。ありがとうございました。
- ・おしりをたたいたり、足をふんだりするゲームはすぐにでも実践したい。

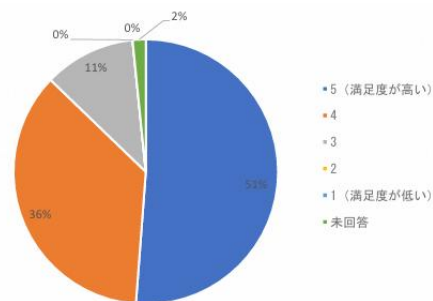
【全体のアンケート集計より】

- ・参加していただいた保護者全体のアンケート結果

①イベントの参加の有無について

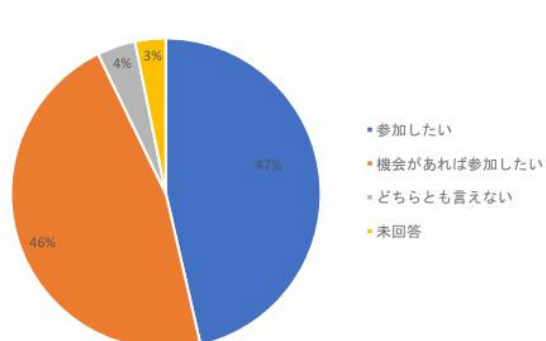


②イベントの満足度について

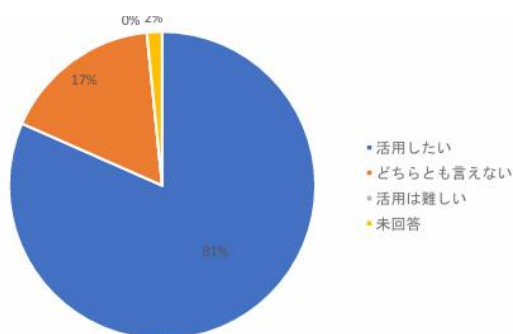


- ・①イベントへの参加経験については、半数が未経験であった。
- ・②イベントの満足度 については5点満点で「5」が51%、「4」が36%で、合わせて87%が満足しており、運動遊びの普及・啓発につながっていると考えられる。

③同じようなイベントに参加したいと 思いますか

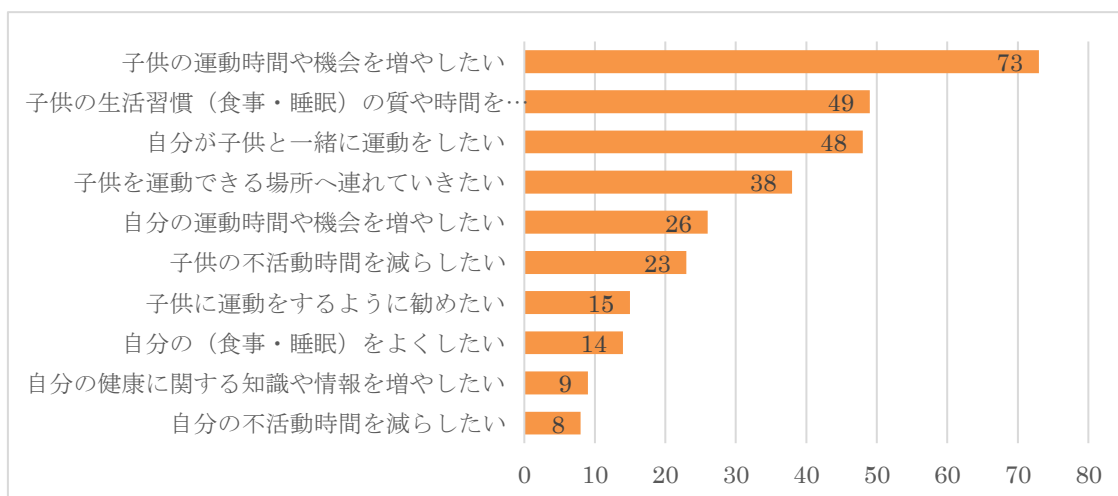


④実際の生活で活用できると 思いますか



- ・③「同じようなイベントがあれば参加したいと思いますか」の問いに対し、「参加したい」が47%、「機会があれば参加したい」が46%で、合わせて93%となった。この数字は大変心強く、次の取組への意欲につながる結果であった。
- ・④「実際の生活で活用できると思いますか」の問いに対し、「活用したい」が81%であり、一定の効果があつたと考えられる。

⑤今後の生活で取組みたい項目について



- ・⑤今後の生活で取組みたい項目については、子供の運動に対する前向きな姿勢が上位を占める一方で、「生活習慣」が2位に入った。これは、子供にとっても大人と同様に栄養・休養・運動が大切であるという意識が、事業を通じて今後さらに広がることを期待できる。

5. 成果と課題

(1) 事業の評価

- ・活動範囲は昨年度までとは異なり、今年度は県東部への普及が少しずつではあるが進んだ。
- ・大学や関係機関と連携し、イベントや保育園等への巡回指導を実施するとともに、工作や家事の手伝い要素を取り入れて家庭での活動へつなげ、さらにアプリを活用することで、比較的関心の低い層（運動が苦手・嫌いな子供）への働きかけを行った。
- ・継続的な運動教室への参加や親子による運動機会の提供により、家族での運動機会が増加し、子供の行動変容の一助となった。
- ・保護者の意識変容については、子供へのサポート意識や保護者自身の運動習慣への意識が高まり、保護者自身の運動への意欲が向上した。
- ・保護者に「子供を運動ができる場所に連れていきたい」「子供と一緒に運動したい」といった意識の変化がみられたことから、今後も取組を継続することで一層の行動変容が期待される。
- ・子供の行動変容と保護者の意識変容の成果から、親子での活動や保護者への働きかけが子供の運動習慣形成に効果的であることが確認できた。
- ・保育所等への指導者派遣により、運動教室等への参加経験がない保護者など、比較的関心の低い層へのアプローチが可能となった。

(2) 今後の課題

- ・単発の運動教室等は実施できたが、継続して取り組む事業を増やす必要がある。
- ・広報活動については、チラシを保育園や小学校に配布したいものの、多くの配布物が学校に依頼されるためうまくいかないという声もある。しかし保護者によれば、子供が持ち帰るチラシには必ず目を通すため最も効果的であるとの意見が多い。そこで、市町村教育委員会や保育担当の厚生部門と連携を深め、情報拡散に努める。
- ・SNS等のツールも活用するなど、広報活動の方法をさらに工夫する。
- ・良い指導者の発掘と育成が重要である。
- ・無関心層には楽しい時間の設定が必要である。
- ・無関心層へは口コミ・SNS・ママ友ネットワークによる広がり・つながりが生まれるとよい。
- ・引き続き比較的関心の低い層（運動が苦手・嫌いな子供）へのアプローチを検討し、事業を進める。

6. 今後の取組予定

- ・単発のイベントだけではなく、関係団体と連携して継続的に行えるイベントに取り組む。
- ・大学や関係機関との連携を継続し、新たに子育てや家庭教育に関する機関との連携体制を構築する。
- ・幼児期の運動遊びの普及に向けては、親子による活動や保護者への啓発をスポーツイベント等に取り入れ、比較的関心の低い層（無関心層）へアプローチし、子供や保護者の行動変容につながる取組を検討する。

参 考 資 料

● 令和7年度「子供の運動習慣形成モデル事業」報告会発表資料

令和7年度 幼児期からの運動習慣形成プロジェクト



子供の運動習慣形成モデル事業

報告会

子供の運動習慣形成モデル事業 取組結果

富 山 県

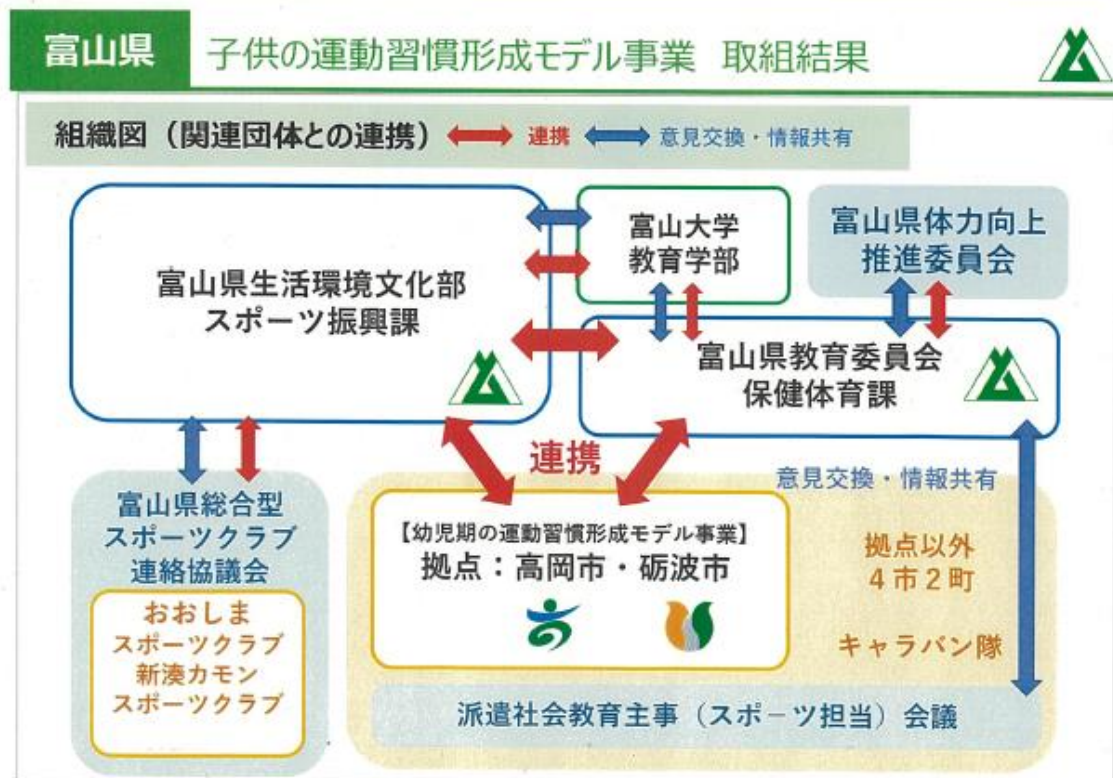
令和8年2月18日（水）

13：30～

於：富山県総合体育センター 会議室



富山県公式マスコット
きとさと君





今年度実施した取組 ①

【拠点自治体（高岡市・砺波市）】

- 運動遊び研修会
- 親子運動教室（巡回指導）
- 運動遊び教室（巡回指導）
- あそびバ！in砺波（親子運動イベント）



今年度実施した取組 ②

【スポーツイベントの開催】

- Enjoy！スポーツとやま2025（富山市）

親子できるリズム体操
富山福祉短大 小川氏考案

オープニング ～みんなでパピプッペぽぽん体操～

フィナーレ ～うちわでドン！おどっちゃフィナーレ～

- キッズムーバーズアカデミー

富山大生が動きを考案

～大学生があそびのリーダー～

（於：富山大学）





今年度実施した取組 ③

【比較的関心の低い（無関心層）へのアプローチ】

○「運動遊び」キャラバン隊の巡回指導

拠点自治体以外においては、キャラバン隊を結成しての保育所等への巡回指導（運動遊びや「パピブッペぽぽん体操」の普及）を行う。子供たちにリズムに合わせて体を動かす楽しさを味わわせることで、運動するきっかけや体を動かす動機付けを高める。また、同時に親子バージョンも紹介することで、家族と一緒に運動に取り組むきっかけをつくる。【巡回指導】（9回）

○ 出張キッズムーバースアカデミー

児童館（富山市）、子ども食堂（富山市）
元気フェスティバル（小矢部市）



今年度実施した取組 ④

【総合型地域スポーツクラブとの連携】

○親子運動教室

新湊カモンスポーツクラブ（射水市）
体育の寺子屋・親子教室（5回）



○親子運動広場

おおしまスポーツクラブ（射水市）
グラウンドで親子うんどうひろば！





今年度実施した取組⑤（小学生へのアプローチ）

【富山大学との連携】

○リーフレット作成（県HP、県公式YouTube等で公開）

「みんなでチャレンジ！運動あそびレポートBOOK」

○Webアプリ「とやま元気っこチャレンジ」のミッションの充実

（富山大学と連携し、オリジナル運動遊び動画を作成）

○オリジナル楽曲、オリジナル動画の作成

・アプリを利用してアンケートを実施

「みんなで選ぼう！第1回おすすめミッションランキング」



今年度実施した取組⑤（小学生へのアプローチ）

【アンケートについて】

※運動嫌いな子どもが取り組みやすいミッションを分析

- ・一人で取組める運動あそびを推薦
- ・短時間の動画（45秒程度、TikTok等）
- ・決められた動きだけでなく自由な動き

一人でできる、手軽にできる、家でできる…

○お手伝いミッション

○オリジナル曲の作成（子どもたちそれぞれのオリジナル体操）

→ **幼児の運動あそびにも活用**





取組の効果測定の結果と分析 ①

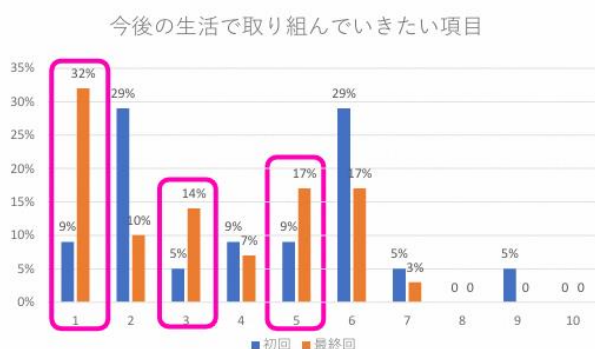
【運動教室等継続参加者の評価・効果検証】

共通項目		結果
ア	「子供が活発に体を動かして遊ぶ機会が少ない」と答えた保護者のうち、「子供が以前より活発に体を動かして遊ぶようになった」と回答する割合	45%
イ	「子供が体を動かして1日60分以上遊ぶようになった(又は既に1日60分以上遊んでいる)」と回答する割合	100%
ウ	「子供の不活動時間(スクリーンタイム等)が減少した」又は「子供の不活動時間を減らすことを意識するようになった」と回答する割合	64%
エ	「子供の睡眠や食事などの生活習慣の改善を意識するようになった(又は既に意識している)」と回答する割合	82%
オ	「子供と一緒に体を動かして遊んだり、運動したりするようになった」と回答する割合	73%
カ	保護者自身の「不活動時間の減少を意識するようになった」と回答する割合	45%
キ	「子供に運動遊びを習慣化させるための働きかけを意識するようになった(又は既に意識している)」と回答する割合	91%



取組の効果測定の結果と分析②

【運動教室等継続参加者（保護者）の意識変化】



※ 1, 3, 5 の変化
→ 保護者の
行動変容につながる

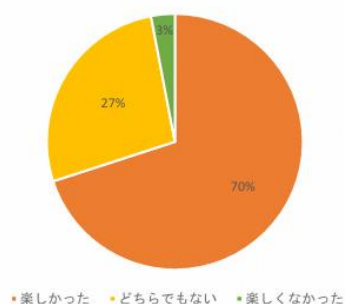
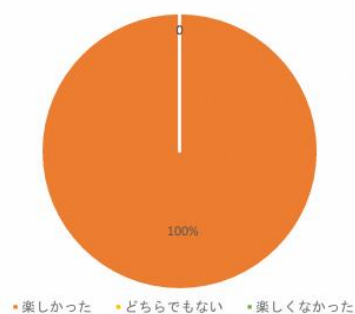
1. 子供の運動時間や機会を増やしたい 2. 子供の不活動時間を減らしたい
 3. 子供の生活習慣を充実させたい 4. 子供に運動するよう勧めたい
 5. 子供を運動ができる場所に連れていきたい 6. 子どもと一緒に運動したい 7. 自分の運動時間を増やしたい
 8. 自分の不活動時間を減らしたい 9. 自分の生活習慣をよくしたい
 10. 自分の健康に関する知識や情報を増やしたい



取組の効果測定の結果と分析③

【キッズムーバーズのアンケートより】

楽しかったですか（こども食堂）

楽しかったですか
(小矢部元気フェスティバル)

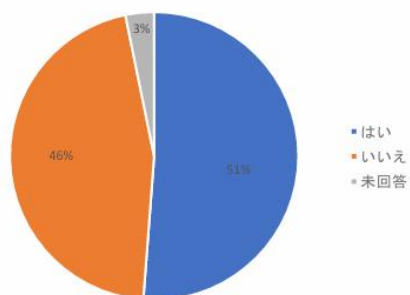
こども食堂では「どちらでもない」が3割



取組の効果測定の結果と分析④

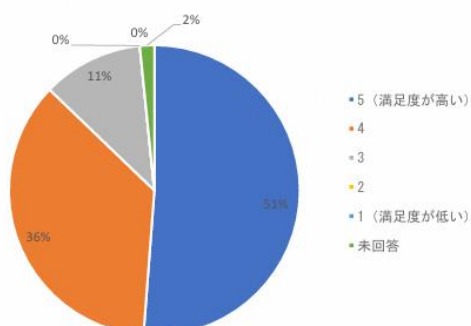
【全体のアンケート集計より】

①今までに子供の運動遊びに関するイベントに参加したことはありますか



半分が参加経験あり

②今回の満足度

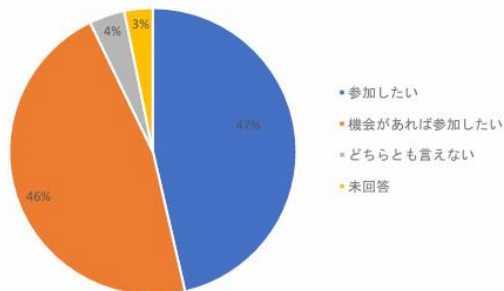


満足度が高い

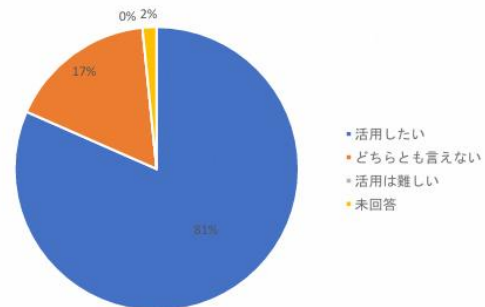


取組の効果測定の結果と分析④

【全体のアンケート集計より】

③同じようなイベントがあれば参加したい
と思いますか

④実際の生活で活用できると思いますか

大半の方が「参加したい」「活用したい」と回答 **効果あり**

取組の効果測定の結果と分析④

【全体のアンケート集計より】

⑤今後の生活であなたが取り組んでいきたい、意識していきたい項目
(複数回答)

子供の運動に対する前向きな姿勢



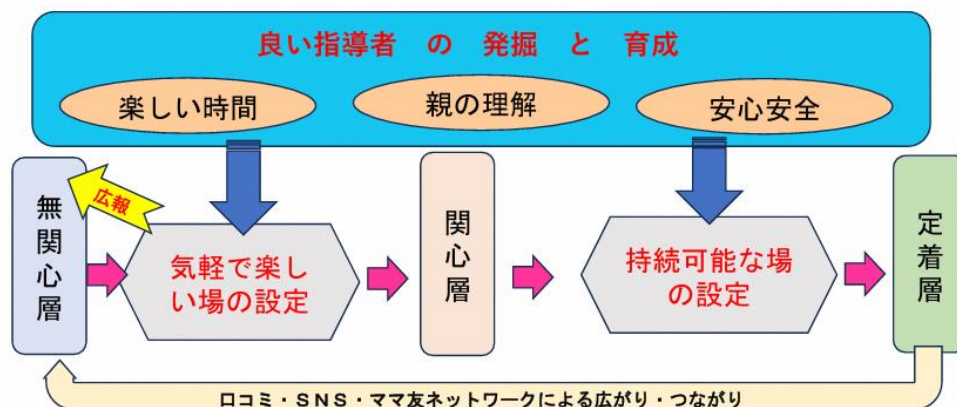
意見交換会の開催 令和8年1月28日（富山県民会館）



○出席者

・教室講師、自治体、県スポーツ協会、県教委、スポーツ振興課

○ご意見のまとめ



今年度の成果や課題

- キャラバン隊の取組の成果 → 県東部への普及ができた
- 子供たちに関わる大人が子供と一緒に活動
→ 保護者等の意識の変化が子供にも影響大
- 電子媒体活用の効果 → 「いつでも」「どこでも」知識や技術の習得ができる
- 大学や関係機関との連携 → 新たな体制・環境づくり
- 比較的関心の低い（無関心層）へのアプローチ
→ 保育所・園等への派遣による運動教室参加経験のない保護者への周知、電子媒体等の活用
- 事業成果の周知、県全体への波及
→ 拠点自治体以外での取組（種まき）普及・啓発





今後の取組について

- 拠点自治体のノウハウ・キャラバン隊を更に県全体へ波及
- 大学や関係機関との継続した連携
- 子育てや家庭教育に関する機関との連携
- 保護者の行動変容についてのアプローチ
- 運動教室等に参加していた親子の追跡調査
- 電子媒体の活用
- 比較的関心の低い（無関心層）へのアプローチ



令和7年度 幼児期からの運動習慣形成プロジェクト

子供の運動習慣形成モデル事業

報告会

幼児期の運動習慣形成モデル事業 取組結果

富山県

ご清聴ありがとうございました



● 幼児期からの運動習慣に関するアンケート

参加者 各位

富山県生活環境文化部スポーツ振興課

幼児期からの運動習慣形成プロジェクトへのご協力について

このアンケートは、スポーツ庁の事業委託を受けた県が（拠点自治体と連携し）、子供の運動や遊びに関する情報を得るためのアンケートです。

この調査によって、あなたやあなたのお子様にご迷惑がかかることは全くありませんので、ご協力をお願いいたします。

※個人情報の取扱いについて

- ・個人情報の保護に基づきいただいた情報は上記の以外の目的では使用いたしません。
- ・同意なしに第三者へ個人情報を提供することはありません。
- ・特定の個人が識別できる情報として、公表されることはありません。



幼児期からの運動習慣に関するアンケート



★各質問において、当てはまる回答の□の中に✓を記入してください。

お名前	居住地 市・町・村	参加イベント名
-----	--------------	---------

回答者（あなた）について伺います

① 運動について

1週間にどれくらいの頻度で、軽く汗をかく運動（散歩、家事、農作業等含む）や各種スポーツなど身体活動（30分以上）をしていますか。

☐ 毎日 ☐ 5～6日 ☐ 4～5日 ☐ 3～4日 ☐ 1～2日 ☐ していない

② 1週間にどれくらいの頻度で、お子様と家族（自身も含む）と一緒に運動遊びをしていますか。

☐ 毎日 ☐ 5～6日 ☐ 4～5日 ☐ 3～4日 ☐ 1～2日 ☐ していない

③ 座って過ごす、テレビ・パソコン・スマートフォンなどの視聴などの時間（不活動時間）は1日平均どれくらいですか。（ ）分

④お子様の睡眠や食事等の生活習慣の改善を意識していますか

- ☐意識している ☐どちらとも言えない ☐意識していない
☐既に改善できている（適切である）

⑤お子様に運動遊びを習慣化させるための働きかけを意識していますか

- ☐意識している ☐どちらとも言えない ☐意識していない
☐既に働きかけている（習慣化できている）

お子様（園児・児童等含む）について伺います

① 運動について

1週間で、1日の合計が60分以上身体活動（スポーツ、運動遊び、登降園・登下校の歩行、友達や家族との活動も含む）をしていますか。

- ☐毎日 ☐5～6日 ☐4～5日 ☐3～4日 ☐1～2日 ☐していない

②活発な遊びについて

1週間にどれくらいの頻度で、体を活発に動かす（少し汗をかく、少し息が上がる）運動や遊びをしていますか。

- ☐毎日 ☐5～6日 ☐4～5日 ☐3～4日 ☐1～2日 ☐していない

② お子様の習い事の種類について教えてください（複数選択可）

- ☐野球 ☐サッカー ☐バスケットボール ☐テニス ☐スイミング
☐ダンス ☐剣道 ☐柔道 ☐空手 ☐芸術系 ☐学習塾（英会話）
☐その他 ☐していない

④ 座って過ごす、テレビ・パソコン・スマートフォンなどの視聴などの時間（不活動時間）は1日平均どれくらいですか。（ ）分

裏へ続く

参加イベントについて伺います

①今までに子供の運動遊びに関する教室や講習会、イベントに参加したことはありますか。

☐はい ☐いいえ

②今回の内容やプログラムの満足度について、最も近い数字に○印を付けてください。

満足度 (高)  (低)
5 4 3 2 1

③同じようなイベント（教室・講習会）があったら、また参加したいと思いますか。

☐参加したい ☐機会があれば参加したい ☐どちらとも言えない

④実際に生活や保育の場面で今回の内容やプログラムが活用できると思いますか。

☐活用したい ☐どちらとも言えない ☐活用は難しい

⑤今後の生活であなたが取り組んでいきたい、意識したい項目について選択してください。

（3つまで選択可）

- ☐もっと子供の運動時間や機会を増やしたい
- ☐もっと子供の不活動時間を減らしたい
- ☐もっと子供の生活習慣（食事・睡眠）の質や時間を充実させたい
- ☐もっと子供に運動をするように勧めたい
- ☐もっと子供を運動ができる場所へ連れていきたい
- ☐もっと自分が子供と一緒に運動をしたい
- ☐もっと自分の運動時間や機会を増やしたい
- ☐もっと自分の不活動時間を減らしたい
- ☐もっと自分の（食事・睡眠）をよくしたい
- ☐もっと自分の健康に関する知識や情報を増やしたい

⑥感想やご意見などがありましたらお聞かせください。

参加者 各位

富山県生活環境文化部スポーツ振興課

幼児期からの運動習慣形成プロジェクトへのご協力について

このアンケートは、スポーツ庁の事業委託を受けた県が（拠点自治体が連携し）、子供の運動や遊びに関する情報を得るためのアンケートです。

この調査によって、あなたやあなたのお子様にご迷惑がかかることは全くありませんので、ご協力をお願いいたします。

※個人情報の取扱いについて

- ・個人情報の保護に基づき、いただいた情報は上記以外の目的では使用いたしません。
- ・同意なしに第三者へ個人情報を提供することはありません。
- ・特定の個人が識別できる情報として、公表されることはありません。



幼児期からの運動習慣に関するアンケート



★各質問において、当てはまる回答の□の中に✓を記入してください。

お名前	居住地 市・町・村	参加イベント名
-----	------------------	---------

（１）全プログラム（イベント・教室・講習会）を終えての変化について伺います。

回答者（あなた）について伺います

Ｑ１．軽く汗をかく運動（散歩，家事，農作業等含む）や各種スポーツをする機会について

- ☐ 以前より増えた（増やすことを意識するようになった）
☐ 変わらない ☐ 以前より減った

Ｑ２．お子様と家族（自身も含む）と一緒に運動遊びをする機会について

- ☐ 以前より増えた（増やすことを意識するようになった）
☐ 変わらない ☐ 以前より減った

Ｑ３．座って過ごす、テレビ・パソコン・スマートフォンなどの視聴時間について

- ☐ 以前に比べ減少した（減らすことを意識するようになった）
☐ 変わらない ☐ 増加した

Q 4. お子様の睡眠や食事等の生活習慣の改善について

- ☐ 意識している（意識するようになった） ☐ どちらとも言えない
☐ 意識していない ☐ 既に改善できている（適切である）

Q 5. お子様に運動遊びを習慣化させるための働きかけについて

- ☐ 意識している（意識するようになった） ☐ どちらとも言えない
☐ 意識していない ☐ 既に働きかけている（習慣化できている）

Q 6. 今後の生活であなたが取り組んでいきたい、意識したい項目について（3つまで選択可）

- ☐ もっと子供の運動時間や機会を増やしたい
☐ もっと子供の不活動時間を減らしたい
☐ もっと子供の生活習慣（食事・睡眠）の質や時間を充実させたい
☐ もっと子供に運動をするように勧めたい
☐ もっと子供を運動ができる場所へ連れていきたい
☐ もっと自分が子供と一緒に運動をしたい
☐ もっと自分の運動時間や機会を増やしたい
☐ もっと自分の不活動時間を減らしたい
☐ もっと自分の（食事・睡眠）をよくしたい
☐ もっと自分の健康に関する知識や情報を増やしたい

お子様（園児・児童等含む）について伺います

Q 1. 1日当たり少なくとも 60 分以上の身体活動（スポーツ、運動遊び、登降園・登下校の歩行、友達や家族との活動も含む）をする機会について

- ☐ 以前より増えた ☐ 変わらない ☐ 以前より減った

Q 2. 活発な（軽く汗をかく、少し息が上がる）運動や遊びの機会について

- ☐ 以前より増えた ☐ 変わらない ☐ 以前より減った

Q 3. 座って過ごす、テレビ・パソコン・スマートフォンなどの視聴時間について

- ☐ 以前に比べ減少した（減らすことを意識するようになった）
☐ 変わらない ☐ 増加した

Q 1. 今回の内容やプログラムの満足度について、最も近い数字に○印を付けてください。

5 4 3 2 1

☐ 参加したい ☐ 機会があれば参加したい ☐ どちらとも言えない

☐ 活用できる ☐ どちらとも言えない ☐ 活用は難しい

--

41

2025/03/02 11:11

「キッズムーバーズアカデミーINとみだい2025夏」アンケート調査のお願い

「キッズムーバーズアカデミーINとみだい2025夏」アンケート調査のお願い

本日は「キッズムーバーズアカデミーINとみだい2025夏」にご参加いただき、誠にありがとうございます。今後のイベント企画等につなげるため、ぜひご意見・ご感想をお聞かせください。

* 必須の質問です

1. お子様の学年 *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 小1
☐ 小2
☐ 小3
☐ 小4
☐ 小5
☐ 小6

2. お子様の性別を教えてください。 *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 男
☐ 女
☐ 回答しない

2025/03/02 11:11

「キッズムーバーズアカデミーINとみだい2025夏」アンケート調査のお願い

3. 本イベントをどこで知りましたか。 *

4. イベントのご感想・ご要望ありましたらご記入ください。

このコンテンツは Google が作成または送信したものではありません。

Google フォーム

<https://docs.google.com/forms/d/1g0PR021WMMQUCbJ7Z25Nk0dWdE8Uaas4/g3C4Uaet>

1/3

<https://docs.google.com/forms/d/1g0PR021WMMQUCbJ7Z25Nk0dWdE8Uaas4/g3C4Uaet>

2/3

【キッズムーバーズアカデミーIN 光陽こども食堂 参加者アンケート】

今日の「キッズムーバーズアカデミーIN光陽こども食堂」について質問します。

① 楽しかったですか。 （ はい ・ どちらでもない ・ いいえ ）

② 楽しかった理由を選んで☑をつけてください。 （何個選んでも良いです。）

☐ ルールが分かりやすかったから

☐ 大学生と遊べたから

☐ 友達と遊べたから

☐ キッズムーバーズアカデミーが楽しいから （かざりつけやコスチューム等）

☐ 体を思いっきり動かすことができたから

☐ その他

③ 感想があったら書いてください。

